

入院診療計画書

頬骨骨折整復術を受ける患者様へ

診断名: 頬骨骨折 症状【顔面】の変形 頬部の陥凹】

患者氏名()様 主治医() 担当看護師() 担当薬剤師() 説明者() 病棟()
 ◆特別な栄養管理の必要性(有・無) ◆総合的な機能評価(該当する場合別紙にて評価)

経過 月日	入院日	手術前日	手術当日	術後1日目	2日～5日目	6日目	7日目(退院)
到達目標	手術による合併症の理解ができています	体調の変化がない	体調の変化がない。	術後の出血がない。 痛み止めで痛みが軽減する	痛み止めで痛みが軽減する	痛み止めで痛みが軽減する	退院後の生活に不安がない。 自宅での生活について理解できる
食事	・普通食または軟らかい食事	・21時以降は食事を摂らないで下さい。 ・水分は麻酔科の先生から説明します	・朝、昼絶食 ・術後4時間したら飲水可です ・夕食は普通食(口の中に傷があるときは全粥、きざみ食)				・普通食可(口の中に傷がある時固いものを避けて下さい) 
安静度	・制限ありません		・帰室後ベッド上安静です ・最初のトイレは看護師が付き添います	制限はありません			
清潔	・入浴 ・歯磨きもできますが、口の中に傷がある方は、うがいのみにして下さい			・入浴可(傷は濡らさないようにして下さい) ・口の中の傷を避ければ歯磨き可			・洗顔可
内服 点滴	・内服薬は主治医の指示のもとで服用してください		・手術前に点滴を行います * 朝早いときは行わないときもあります ・術後点滴は経口摂取できるまで持続で行います	・抗生剤の点滴が朝・夕あります 			・抗生剤の内服薬が朝から開始になります
検査 受診	・必要あれば検査をします ・必要があれば他科受診があります	・麻酔科術前診察があります		・血液検査		・血液検査	・退院時の療養について
説明	・手術オリエンテーション(看護師)	・手術についての説明(主治医)	術後の説明	・包交時適時説明します			
処置	・必要時挫創部の処置があります		・患側の点眼を開始します ・口の中に傷がある時はイソジンでうがいを開始します	・ガーゼ交換(適時)		・顔面の糸抜きをします	・口の中に傷がある時はイソジンでうがいを続けます
書類	提出していただきたい書類 ・入院申込書 ・手術同意書 ・麻酔同意書 ・診断書の必要な方は早めに提出してください						

* ご不明な点がありましたらお尋ねください。
入院時必ずご持参ください

説明日: 西暦 年 月 日
 患者様(親権者または代理人) 署名
 2007年6月作成 2008年1月修正 2011年3月修正